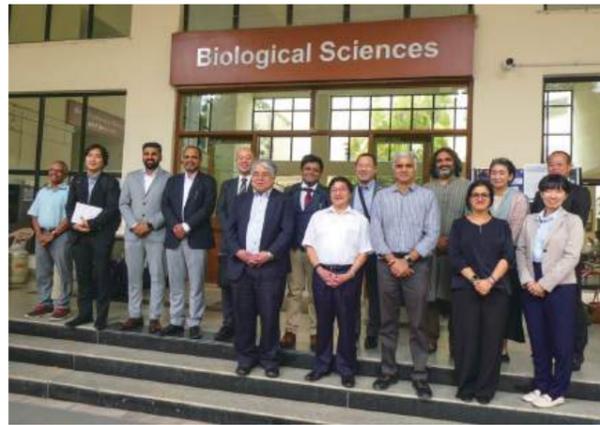


(前ページからの続き)

●インド理科大学院と共催のシンポジウムと研究所訪問(10月22日~24日)

「ストレスと加齢：21世紀の課題に取り組む日印の生物学研究協力」をテーマに、学術研究展開センター(KURA)がインド理科大学院と共催で学術ワークショップを開催しました。本学からは、石川副学長、近藤 祥司 医学部附属病院 PFMセンター准教授、磯部 昌憲 医学部附属病院 精神科神経科 助教、ナマシバヤム ガネシュ パンディアン 高等研究院物質-細胞統合システム拠点 講師、シャルマ ポカレル サンジータ 白眉センター 特定助教が最新の研究成果を発表し、活発な議論が展開されました。また、ワークショップ後には、さらなる学術交流や大学間学生交流協定の締結を含む学生交流の強化についても意見交換が行われ、今後の連携が期待されています。



さらに、生命科学分野の研究機関が集積するベンガルールにおいて、最先端の次世代シーケンサープラットフォームを提供するMedGenomeや、インド政府科学省が2009年に設立したバイオインキュベータ施設であるCentre for Cellular and Molecular Platforms (C-CAMP)などを訪問しました。これらの機関との面談では、最先端のライフサイエンス研究の推進や起業家の育成について意見交換が行われ、共同研究の可能性についても議論が交わされました。



●在ベンガルール日本総領事館表敬(10月24日)

在ベンガルール日本国総領事館 中根 勤 総領事を表敬しました。ベンガルールにおけるインド人学生の日本留学や日本企業への就職状況について、情報収集を行いました。



今回は学外から文部科学省高等教育局 参事官(国際担当) 付 留学生交流室政策調査係の藤村氏も参加し、インド市場において長年にわたり積極的に展開を行う島津製作所との連携も図りながら訪問を行いました。国策としてインドからの留学生数の増加を目指す中、本訪問で全学を挙げての本学の取組を強く印象付けることができました。大学院教育支援機構では、**今後もKU-STAR Programを通じて優秀なインド人留学生の増加を目指すにあたり、受入れを希望する研究室を引き続き募集しています。**ご関心のある研究室は、ぜひ大学院教育支援機構までお問い合わせください。

Kyoto University
Division of Graduate Studies
京都大学大学院教育支援機構



https://
www.kugd.k.kyoto-u.ac.jp/

ILAS
INSTITUTE FOR LIBERAL ARTS AND SCIENCES



https://
www.z.k.kyoto-u.ac.jp/



この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」に寄付されています。
www.jcv-jp.org



この冊子に使用しているインキは、産業廃棄物として廃棄予定のインキを一部再利用しています。

●お問合せ 京都大学国際・共通教育推進部企画掛
〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 東一条館
Mail: graduate_studies_office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京都大学
大学院教育支援機構/国際高等教育院/国際・共通教育推進部

DEC 2024

vol. 9

News Letter

このニュースレターでは、大学院教育支援機構、国際高等教育院、国際・共通教育推進部に関する最新の活動や取り組みについてお知らせします。

国際教育支援

留学生のリクルーティング

日印大学フォーラムや学術交流を通じたインドとの連携強化

2024年10月19日から24日にかけて、国際連携推進を目的に、國府 寛司 理事、河野 泰之 副学長、石川 冬木 副学長、平島 崇男 大学院教育支援機構長、村上 章 総合生存学館長をはじめとする22名の代表団がインドを訪問しました。ニューデリーで開催された「第三回日印大学等フォーラム」や、ハイデラバードの「IIT Hyderabad JAPAN ACADEMIC DAY 2024」に参加し、さらにベンガルールでは京都大学学術研究展開センター(KURA)とインド理科大学院(IISc)との共催で学術ワークショップを実施しました。

今回の訪問は、2024年1月のインド訪問や5~7月に実施された「Kyoto University Short-Term Academic Research Program (KU-STAR Program)」により築かれた日印の連携関係を一層発展させるもので、各会合やイベントにおいては、**KU-STAR Programの紹介に加え、大学間での学生交流や学術交流のさらなる具体化が図られました。**

●第三回日印大学等フォーラム(10月19日)

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)が主催する「第三回日印大学等フォーラム」に河野副学長、村上総合生存学館長、佐々木 結 リサーチアドミニストレーターが参加しました。本フォーラムは、日本とインドの大学の学長級が一堂に会する貴重な場となり、JST 理事長や駐日インド大使、文部

科学省などが挨拶を行いました。**2025年には、日印科学技術協力協定締結40周年および日印関係が特別戦略的グローバルパートナーシップに格上げされてから10周年を迎えることから、インドと日本の科学技術協力および人材交流がさらに活発化されることへの期待が表明されました。**



(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

円卓会議:

全体会合に続いて、「日印頭脳循環の促進とその人材の域内での活躍の促進」を共通テーマに、3つのグループに分かれた円卓会議が行われ、河野副学長はIITデリー校のRangan Banerjee学長とともにグループ3の座長を務めました。このグループでは、以下の4点について意見交換が行われました:

1. ポスドクを含むアカデミアにおけるキャリアパス
2. インターンシップや企業との産学連携
3. 企業による支援とキャリアパスへのつなぎ
4. 日本の大学での日印共同指導の可能性

円卓会議には多くの大学や機関、企業が参加し、各テーマに沿ってそれぞれの取り組み事例を紹介しました。今後の日印間の交流がより深化することが期待されています。

個別会合:

個別会合ではインド理科大学院、IITガンディーナガル校、IITボンベイ校、IITルールキー校、IITマンディ校、IITカーンプル校の6校と面談を行いました。とりわけ、**インド理科大学院、IITボンベイ校、IITルールキー校、IITカーンプル校の4校とは、大学間学生交流協定の締結を含む具体的な学術交流についての協議を行うことができました。**また、2025年5月に予定されているKU-STAR Programへの参加も呼びかけ、**各大学からは「京都大学の研究環境を体験できる貴重な機会」として高く評価され、多くの優秀な学生からの応募が期待されています。**



●インド京大会(10月19日)

今回で2回目の参加となる本学同窓会・インド京大会において、前回の訪問で紹介したKU-STAR ProgramにIIT各校から18名の学生が参加した実績を報告しました。また、今後のプログラム拡充を目指し、次年度以降のさらなる相互協力の強化を要請しました。



●IITハイデラバード校 JAPAN ACADEMIC DAY 2024 (10月20日~21日)

IITハイデラバード校と日本の大学・企業との関係強化を目的とした総合イベント「IIT Hyderabad Japan Month」の一環である「ACADEMIC DAY」に参加しました。本イベントには、日本の大学や日本留学に関連する22の機関が参加し、日本留学の魅力をアピールしました。また、このイベントは国際協力機構(JICA)の協力のもとで実施されました。

初日は、キャンパスツアーで、日本の円借款支援によって整備され2024年2月に完工式が行われたIITハイデラバード校の国際会議場、講堂、および図書館「Knowledge Resource Centre」等を見学しました。また、同キャンパスにあるSuzuki Innovation Centreは、同校とスズキ株式会社との共同プロジェクトとしてオープンイノベーション促進を目的に設立されたもので、施設を案内してくれた片岡広太郎教授からは、日本の大学教員や学生の積極的な活用を期待する旨の説明がありました。



2日目は開会式の後、IITハイデラバード校の学生向けにAAO (Admissions Assistance Office) が大学院進学への個別相談を行いました。**本学のブースには200名を超える学生が訪れ、大学院やKU-STAR Programについての紹介を行い、学生の関心の高さを実感しました。**



生命、数学、土木、化学、エネルギー学分野のIITハイデラバード校教員とネットワーキングを実施し、模擬講義や学生からの質問対応を通じて交流を深めました。以下の分野ごとに面談を行い、今後の交流深化に繋がる基礎を築くことができました。

- 生命: 石川副学長と
Rajakumara Eerappa 生命工学 学科長
- 数学: 國府理事と Ramesh G 数学 学科長
- 土木: 村上総合生存学館長、
藤澤 和謙 農学研究科 教授、
シャルマ ヴिकास 農学研究科 研究員と
Munwar B. Basha 土木工学 学科長
- 土木: 平島大学院教育支援機構長と
Prof. Sireesh S. 土木工学 教授
- 化学: 吉田 寿雄 人間・環境学研究科 教授と
Subrahmanyam Ch. 化学 教授
- エネルギー学:
尾形 清一 エネルギー科学研究科 准教授と
Pradeep Kumar Yemula 電気工学 准教授

さらに、IITを中心に高度人材プラットフォームを構築する「Tech Japan」の代表や片岡教授と面談し、IITハイデラバード校のスタートアップ・インキュベーション環境やインド人学生の就職事情、今後の連携について意見交換を行いました。



最後に、國府理事、石川副学長、平島機構長らがB. S. Murty 学長およびTarun K. Panda 国際担当理事を表敬し、大学間学生交流協定の締結に向けた協議を行いました。



(次ページへ続く)